

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	街路整備における通学路の交通安全確保による安心安全な地域づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	鹿児島市, 枕崎市, 指宿市, 薩摩川内市, 霧島市, 始良市												
計画の目標	快適で活力ある生活空間の形成を図るため、通学路交通安全プログラムに位置付けられた通学路の安全対策が必要な箇所対策を実施し、歩行空間の確保等による安心で快適なまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,154	A	3,154	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	・都市計画道路内にある通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合を向上させる。 ・都市計画道路内にある通学路の安全対策を実施した割合（%）＝対策を実施した箇所数（箇所）／安全対策が必要な箇所数（箇所）×100	46%	46%	52%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		種別 1	種別 2				H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	S街路	改築	鼓川通線	現道拡幅 L=0.49km	鹿児島市	■	■	■	■		481	—	
	A01-002	街路	一般	枕崎市	直接	枕崎市	S街路	改築	立神通線	現道拡幅 L=0.30km	枕崎市	■	■	■	■	■		225	—
	A01-003	街路	一般	指宿市	直接	指宿市	S街路	改築	庁舎湯山線 (その2)	現道拡幅 L=0.18km	指宿市	■	■	■	■	■		171	—
	A01-004	街路	一般	薩摩川内市	直接	薩摩川内市	S街路	改築	駅前白和線	現道拡幅 L=0.16km	薩摩川内市	■	■					137	—
A01-005	街路	一般	薩摩川内市	直接	薩摩川内市	S街路	改築	駅前白和線 (その2)	現道拡幅 L=0.11km	薩摩川内市	■	■	■				48	—	
A01-006	街路	一般	霧島市	直接	霧島市	S街路	改築	犬追馬場線	現道拡幅 L=0.18km	霧島市	■	■	■				107	—	
A01-007	街路	一般	始良市	直接	始良市	S街路	改築	松原線ほか1線	道路新設 L=0.50km	始良市	■	■	■	■			255	—	
A01-008	街路	一般	霧島市	直接	霧島市	S街路	改築	山崎線	現道拡幅 L=0.39km	霧島市		■	■	■	■		608	—	
	H29～社総金P25から移行																		

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接		種別 1	種別 2				H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-009	街路	一般	薩摩川内市	直接	薩摩川内市	S街路	改築	中郷五代線	現道拡幅 L=0.38km	薩摩川内市			■	■			143		—
		H30～防安全P27から移行																		
	A01-010	街路	一般	始良市	直接	始良市	S街路	改築	朝日町通線	道路新設 L=0.29km	始良市			■	■	■		372		—
	A01-011	街路	一般	薩摩川内市	直接	薩摩川内市	S街路	改築	横馬場田崎線	現道拡幅 L=0.33km	薩摩川内市					■		77		—
	A01-012	街路	一般	霧島市	直接	霧島市	S街路	改築	新町線	現道拡幅 L=0.14km	霧島市					■		175		—
	A01-013	街路	一般	霧島市	直接	霧島市	S街路	改築	新川北線	現道拡幅 L=0.29km	霧島市	■	■	■	■	■		172		—
	A01-014	街路	一般	霧島市	直接	霧島市	S街路	改築	日当山線	現道拡幅 L=0.40km	霧島市	■	■	■	■	■		183		—
											小計							3,154		
										合計							3,154			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

担当課にて数値目標の達成状況を確認した。

事後評価の実施時期

交付期間終了後

公表の方法

ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

道路整備により、通学路の安全対策必要箇所における対策実施割合が向上し、安全性が確保された。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

歩行空間の確保等により道路の走行性、安全性の向上はもとより、景観性や生活環境の向上など、快適なまちづくりが実現された。

○特記事項（今後の方針等）

未完了事業について、他の事業等にて道路整備を継続し、通学路の安全対策を早期に完了させたい。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	都市計画道路内にある通学路の安全対策実施割合	
	最終目標値	52%
	最終実績値	52%

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

